

キリンビール 2013年11月マンスリー・レポート

1. ビール・発泡酒・新ジャンル販売動向

- ビール+発泡酒+新ジャンル計は、市場同様にマイナス。
- ビール計は、マイナス。
- 発泡酒計は、マイナス。
- 新ジャンル計は、昨年発売した季節限定商品の裏返しがあり、マイナスとなったものの、目標を上方修正した「澄みきり」は好調に推移。

《ビール》

- ◆ 飲食店向けの「一番搾り」樽は、「一番搾りフローズン<生>」「一番搾りツートン<生>」効果もあり、11月までの累計でプラス。
- ◆ 全国6カ所で展開したコンセプトショップ「一番搾りガーデン※」は、上方修正した来店目標40万人を突破。
※東京店のみ12月末まで展開

《新ジャンル》

- ◆ 「澄みきり」は、11月末までの累計で458万ケースを販売。12月中旬より新たに福岡工場での製造を開始し、上方修正した目標の520万ケース達成に向けて取り組む。
- ◆ 「のどごし<生>」は、「夢のドリーム」企画を売場と連動させる年末施策などを積極展開。

《RTD》

- ◆ 「氷結」「本搾り」など主力ブランドが好調に推移し、RTD計は約2割のプラス。
- ◆ 11月5日から期間限定で発売した東北産リンゴの果汁を使用した「キリン 氷結 アップルヌーヴォー」は目標を達成。福島県産和梨の果汁を使用した「キリン 氷結 和梨」も目標を達成する見込みとなるなど、CSV型※の商品が好調に推移。
※ Creating Shared Value（社会と共有できる価値の創造）

以 上